

ボランティアセンター　通信

平成29年2月8日　発行

南京極小学校で百人一首をやろう！

昨年12月5日（月）、12月19日（月）に南京極小学校にて9名の子どもたちと一緒に百人一首に取り組みました。読み手として2名が参加し、交流を深めています。今年度を持って閉校する南京極小学校の歴史を惜しみつつも、元気で優しい子どもたちからたくさんの笑顔をもらいました。



読み手の声を真剣に聞く子ども達



藤澤　玲子さん

昔は百人一首でよく遊びました。子どもたちが素直でとても可愛かった！

すごく楽しかったので行ってよかった！

佐藤　恭子さん

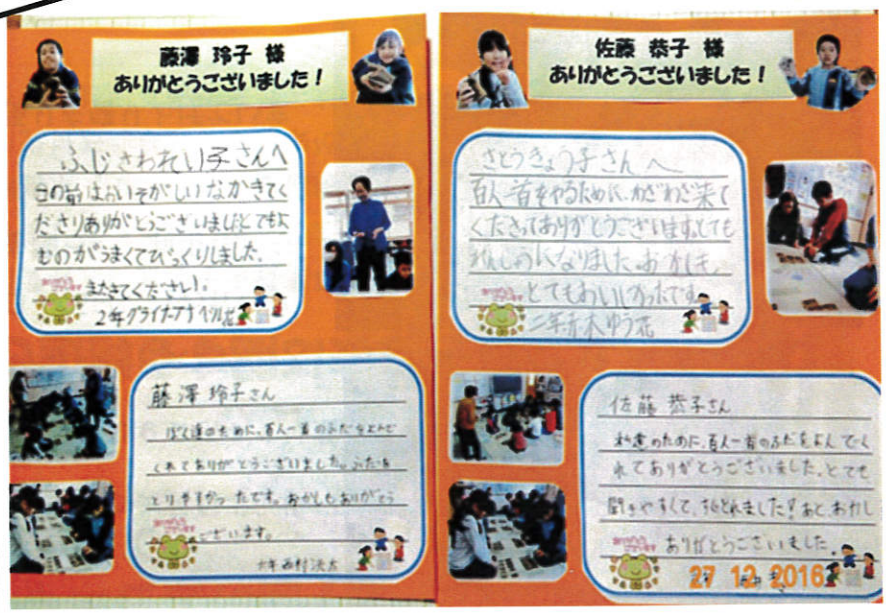
南京極小学校で昔、先生をしていました。

子ども達は一生懸命ですごくいい子ばかり！

お手紙、すごく嬉しいです！



読み手のお二人も笑顔！！



百人一首を読んでくれたお二人に、南京極小学校の子ども達がお手紙を書いてくれました。

あなたも「好きなこと」を生かして子どもたちや地域の方と一緒に活動してみませんか？

活動してみたい方は、ボランティアセンター（TEL42－3681）へお問い合わせください。

ヘルパーSUNの会
デイサービス クリスマス会にて
「おこさ節」を披露！！





毎年、京極町ヘルパーSUNの会は、京極町デイサービス　クリスマス会に参加しています。昨年の12月13日～15日に行われたクリスマス会では、秋田民謡「おこさ節」を踊って、利用者さんの笑いを誘い楽しませてくれました。

利用者さんもうたを口ずさみ、手拍子で踊りを盛り上げていました！！

ボランティア　インタビュー　堅田光良さん



今回は、前回のインタビューでご紹介いたしました尾形日出麿さんからご紹介がありました堅田光良さん（８３才）にお話しを伺いました。

Q1．地域に携わる活動を始めたきっかけは？

A.　知り合いに誘われて1995年に「ライオンズクラブ」という地域貢献団体に入会し、奉仕活動に20年携わりました。住民の方との繋がりの大切さを日々の生活の中で実感しています。

Q2．地域に携わる活動を通して得たものは？

A.　現在、健康推進委員として活動しています。そこで得た知識を周りの人にも伝え、共に健康でありたいと思っています。活動を続けるうえで何より大切なのは家族の理解と、自分の気持ちに豊かさを忘れないことであると感じています。

Q3．堅田さんにとって地域に携わる活動とは？

A.　健康推進委員になってからは子どもから高齢者までの世代間交流の機会が増えました。子どもたちと関わることも健康、体力作りに繋がると思っています。動けることは幸せなことですね。

Q4．堅田さんが大切にしている言葉は？

A.　声を掛けてくれる人は皆、先生であると思っています。「我以外皆我師」（われ以外みなわが師）という言葉が好きです。心がけ次第で自分以外の人たち全てから何かしらのことを学ぶことができるという意味があります。

Q5．活動をしていて一番嬉しかったことは？

A.　ありがとうの言葉が一番嬉しいです。

皆さんへメッセージ

今後、高齢化率は上がってまいります。そんな中で一人一人がボランティアに関心を持ち理解し、なんらかの形で係わる様に努力し、皆で助け合う気持ちが、町内を明るく安心に暮らせる町に造っていけると思います。

エコキャップ　メーター！！　中間報告

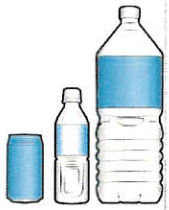
8か月間で6万8177個のエコキャップが集まりました！（H28年3月～H28年11月まで）



平成20年からこれまでに集まった数が７４万２９２２個になりました！！

エコキャップ推進協会に関する報道と今後の対応について

先月、エコキャップ推進協会が、事業費を子会社の人件費に回し、寄付金を借入金で賄っていたとの報道がありました。真相は明らかになっておりません。今後の送付先ついては、ボランティアセンター運営委員会で検討して参ります。京極町では「世界の子どもたちのためにワクチンを届けるため」に活動が始まっており、送付先について決まりましたら皆様にお知らせいたします。エコキャップはこれまで通り福祉センターに持ち込みいただけますのでお知らせいたします。



プルタブも回収しています！！



福祉センターに集まったプルタブは京極小学校へ届けています。プルタブは、車椅子などの福祉用具に交換できます。自走式車椅子（アルミ軽量タイプ）に交換するには７００kgのプルタブが必要です。

おしらせ

車椅子・レク用品等の貸し出しを行っています！！



ボランティアセンターでは、無料で車椅子の貸し出しを行っています。現在、ご家族の方との外出時や学校や福祉施設の行事等でご利用していただいています。車椅子の体験等でもお使いいただけます。また、下記物品につきましても町内会や団体、グループ活動、営利を目的としない活動には無料で貸し出しいたします。申込用紙は、福祉センターに用意しております。予約についてお電話いただくか、または来所時にお声かけください。物品借用の際は、もしものときの損害賠償に備えボランティア行事用保険への加入（１日５６０円から加入できます）をお勧めいたします。

お問い合わせは、

電話４２－３６８１まで

福祉センター　貸し出し物品　一覧		
ラダーゲッター（レク用品）	将棋セット	屋外テント
輪投げ（レク用品）	マージャンセット	DVDデッキ
吹き矢セット（レク用品）	オセロ	プロジェクター
ふまねっと（運動用品）	囲碁セット	スクリーン
サンタクロース帽子・衣装	カラオケ機	車椅子

テレビの寄付を受付中

ご自宅に不要になったテレビはありませんか？現在、町内会・集会所での活動で使用するために、使用していないテレビの寄付を受け付けております！　詳しくはTEL４２－３６８１までご照会ください。

ご　挨　拶



京極町社会福祉協議会　会　長　柳　原　保

新年明けましておめでとうございます。

今年は干支で酉（とり）年です。申（さる）と酉（とり）年は変化の大きい変動の年とも言われます。今年が皆さまにとって大禍なく健康ですばらしい飛躍の年になりますようご祈念申し上げます。

京極町社会福祉協議会は町民の皆さまのご理解とご支援により年々充実発展して参りました。ここに厚く感謝とお礼を申し上げる次第です。

いま日本は人口減少、高齢化、経済的格差、利己主義などが拡大しその結果、人生への目的観、連帯観、共助の心などが希薄になっているように思えてなりません。このような時だからこそ豊かな人生のために福祉活動は一層重視されます。これからの福祉活動は地域住民が関心を持ち主体的に関わっていくことになりました。

介護予防、認知症、障害者、高齢者への見守り活動等を皆で進めて行かなくてはなりません。役場、福祉センター、健康推進委員さん、町内会の福祉委員の皆様の係わりが期待されます。よろしくお願い申し上げます。

今年は地域福祉拠点ができます。改築改装し春頃より活動を展開する予定です。町の中心地で若い人から年老いた人までどなたでも気軽にお立ち寄りしていただければと思います。そこで何をするのかとよく聞かれますが、このことも皆様と話し合い決めていきます。福祉センターには資格を持った職員が揃っていますので積極的に働きかけコーディネートして誰もが安心して生活できる京極町にしていく決意です。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

平成29年度のボランティア活動保険の保険料が変わります！！

全国社会福祉協議会の「ボランティア活動保険」は、ボランティアセンターに登録されている個人・団体が加入対象です。

ご加入プラン	平成２８年度		⇨ 平成２９年度	
	Aプラン	Bプラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ保険料	３００円	４５０円	３５０円	５１０円
天災タイプ保険料	４００円	６５０円	５００円	７１０円

（１名あたり、また平成２９年４月１日～平成３０年３月３１日までの保険料です。）

保険料の引き上げの理由は、全国での傷害事故多発による保険金の支払いの増加です。何卒ご理解をお願いいたします。ボランティア活動中の方、活動を予定されている方は、保険加入をお勧めいたします。

申し込み・お問合せはTEL４２－３６８１まで



災害があった地域での

ボランティア活動をお考えの方へ

出発前に居住地の社協での天災タイプの保険加入をお勧めします。地震、噴火、津波によるケガも補償されます。所手続きが居住地であるとスムーズであり、被災地までの移動の際に事故があった場合も対象となるからです。

発行元：京極町社会福祉協議会　京極町ボランティアセンター（福祉センター内）京極町字三崎６８番地